

2018年12月6日（木）

ソフトバンクの電波障害！！

昼過ぎにスタッフから「課長～タブレットが使えないんです」と訴えが。

業者さんへの問い合わせで電波障害だとわかりました。以前は災害に備え安否確認リストなどをペーパーで準備していたのですが、タブレット導入後はしていませんでした。しかし災害時の電波障害に備え、同様な準備は必須であると実感しました。

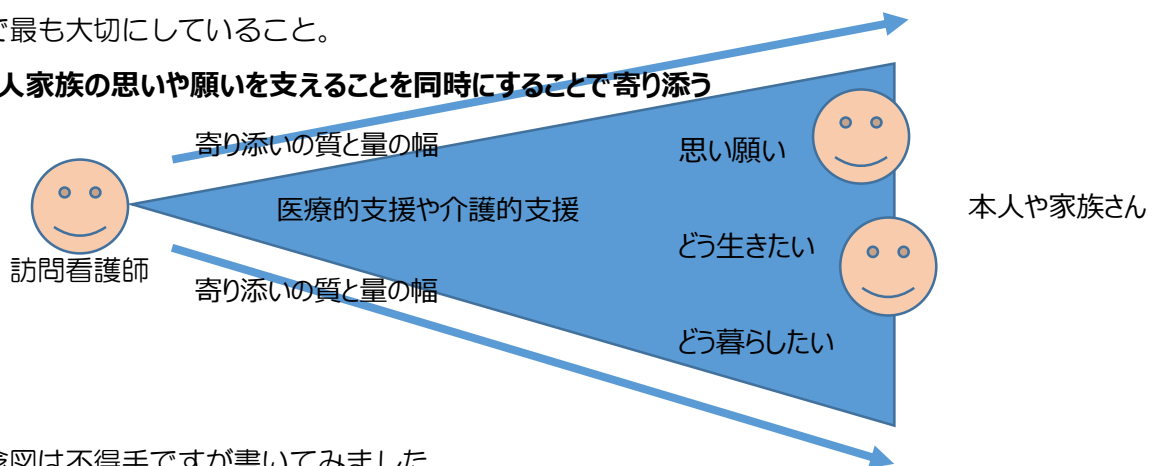
2018年12月6日（木）

訪問看護で支えることとは？

「お手伝いさせてください」は、私たちの側が何を手伝うか明確にしていないと、足りないことをする「だけ」になるおそれがある。私たちが本当にすべきは、利用者さんと家族の真の思い、願いを知り、それが実現できるために支える、一緒に考えることであり、何かを「肩代わり」することが目的ではない。このナラティブを考慮しない「●●のための訪問」では「お手伝いさせてもらう」＝「代わりに何かをする」だけになりがち。

阪神淡路大震災では、「訪問したくてもできない」なら利用者さんが安心して過ごせるための自律を支援することが一番大事だと身を持って知った。これは、24年間の訪問看護人生で最も大切にしていること。

ケア提供と本人家族の思いや願いを支えることを同時にすることで寄り添う



概念図は不得手ですが書いてみました。

医療的支援や介護的支援だけでは寄り添える幅は少なく、思いや願いを踏まえた支援をすると寄り添いの幅が広がり、本人家族さんを支えられる、ということが言いたい図です。

2018年12月5日（水）

私が考える限りの利用者さんに一番よい仕組みとは

社会背景や介護医療改定の流れから行くと、在宅医療を担う訪問看護はキーになります。当法人にある機能が訪問看護とうまくリンクすれば、在宅療養を始める利用者さんにその時点でベストだと思われるプランになるはず、という考えはずっと変わっていません。その考えの柱は、「利用者さんと家族の真の願いを知ってそこを支援したい」という思いだけ。

2018年2018年12月4日（火）

医療的ケアのある子供さんが地域で暮らすためのちょっとのお手伝い

を訪問看護でさせてもらっています。西宮は若年層の人口増加がある希少な地域であり、小学校も増えています。ということは、医療的ケアを必要とする子供さんも増えるということ。

教育委員会のかたとの意見交換で、仕組み誠意やナース人材確保の悩みなどの相談を伺いました。お役にたてるとうれしいです。

2018年11月30日（金）

新卒2年目Nさんの面談

久しぶりにゆっくり話を聞けました。先週、私が対応した新規利用者さんの初回訪問に行ってもらい、看護支援の方向性をケアマネや主治医と相談し、見通しを立て記録に残すというところをしてくれましたが、これがとてもGOOD。他にも支援のちょっとした悩みやハテナと思うところへの対応も素晴らしかったので、「それでいいんだよ」を伝えました。彼女自身は、後輩新卒ナースに教えられることが多いと同時に、年の近い臨床経験のある先輩ナースからアドバイスがもらえることが役立っている、などなど、イキイキと話してくれました。頼もしいな～と思います。

2018年11月29日（木）

事業所自己評価ガイドライン普及のための講師養成研修

去年の在宅医療高度人材育成事業 訪問看護講師人材養成研修のフォローアップ研修として行われました。午前研修を受けての実践報告、午後がガイドライン普及に関する研修でした。兵庫県は看護協会が暴力対策の取り組みを報告。私は質問対応のサポートをしました。研修全体としても活気があり、内容も充実。とても元気になれる研修会でした。まずは自法人のステーションでガイドラインについて理解を深める研修をせねば。

2018年11月28日（水）

事務員さんに担ってもらおう新たな業務

訪問看護では、初回訪問が肝になります。実際に訪問すると、一気に入る情報量が増えますが、それを効果的に整理し、この人が安定した在宅療養を継続するために必要な手立てを、優先順位を考慮しつつ組み立て、まずの支援の方向性を決めます。その時に膨大な記録をする必要があり、ナースの負担になっていました。そこで、ナースの資格を持つ事務員さんにカンファレンス等の時にチームに入ってもらい、記録をしてもらおうと、少しずつ具体を進めています。このブログを見て入職してくれたので、訪問看護で目指したいことも理解してくれていますので、そこはこの人の強みとなっています。目標は、ケアチームの一員として支援の方向性を共有し、記録が自律してできることだと伝え、練習してもらっています。とてもいい感じです。軌道に載せます！

2018年11月27日（火）

法人の階層別研修

今日は管理職ばかりの社会福祉法人に関する研修でした。長年ここで勤めて来て、常に思っていることは、事業団だからこそ＝社会福祉法人として市内で唯一の訪問看護ステーションだからこそ、やらねばならない役割を果たすことです。それは訪問看護の推進の役割を担うことだったり、ネットワークづくりを中心的にする事だったり、他では受けないことを担うことだったりするわけです。それがずーーーーーーーーーーーーーーーーっと引き継がれていく

ように、今、しておくべきこともまだまだあります。

2018年11月26日（月）

常勤スタッフの面談開始

年1回の面談。今年は組織編成を行った変化の大きな年でしたが、面談すると一人一人が利用者さんに必要なサポートをいかにやっていくか、変化に対応しつつ訪問看護の実践をして、考えてくれていることが実感できます。あるスタッフから「報告連絡相談と目指しているティール組織は相反するものでは？」。なるほど、上司への報告連絡相談に頼っていて自律は困難でしょうが、メンバー間のそれだと考えるとよいと思います。いずれにせよ、円滑で楽しく仕事できる組織づくりはコミュニケーションが大事だと思っています。

2018年11月22日（木）

緊急の新規依頼

夕方、ある地域包括より「急ぐんです」とTEL。様子を聞くと、連休前なので訪問看護で生活状況を把握して問題点を整理し、脱水状況改善に必要な手立てを打つと共に、必要なサービスにつなげるようケアマネと連携することが必要と判断。新卒2年目のNナースが遅出だったのでお願いして行ってもらいました。本人家族の希望をしっかりと把握して、状況や状態を適切にアセスメントし、次に訪問するスタッフにつなげるよう記録もしっかりとしてくれていました。明日～毎日、訪問が必要な様子。そこも踏まえて他のスタッフがフォロー。こういう成長が見られるのは嬉しいですね。

2018年11月21日（水）

全体研修会（交通事故防止の警察署からのお話し、オレサポの取り組みレクチャー）

毎年、警察署の方に来ていただき交通安全の話をしていただいています。今年の担当はユニークな方で、皆の笑い声で研修会場はにぎやかでした。そのあと、オレサポ（認知症初期集中支援チーム）担当の看護スタッフが、事業概要や訪問の実際、訪問看護との連携や今後の方向性を話しました。素晴らしいプレゼン、皆に伝わったと思います。

2018年11月20日（火）

全国訪問看護事業協会 研修委員会

今年度最後の委員会になりました。管理者研修の刷新についてかなり議論しました。ステーションが1万ヶ所越えになる中、質担保には管理者のスキル向上が喫緊の課題であるという認識を、国も職能団体も持っています。そのために日本看護協会でも新たな研修体系を検討されています。訪問看護は管理者で決まる。先人が言い続けていることを、その通りだと思い、私も伝えています。

2018年11月19日（月）

エニアグラムを教えてくださいました

ICT業者さんとの打ち合わせの際、スタッフ教育に話が及びました。話を伺っていると、IT企業も訪問看護も人材育成の悩みは同じだと知りました。帰り際、エニアグラムを使った教

育に取り組んでいることを教えてもらい、さっそくググってみました。が、自力では使いこなせそうにありません。でもタイプ診断はおもしろいなあ。私は 2 つのタイプが同じ数値でしたがどちらかというところ・・・で判断。ふむふむ、なるほど。さっそくご飯中の主任に「やってみて？」と声をかけました。

2018年11月16日（金）

法人内のデイサービスからナースが実習に来てくれました

3名の訪問に同行してもらい、どうでしたか？と声をかけ、話を聞きました。

訪問看護では家族看護がすごくなされていたこと、利用者さんの変化にタイムリーに対応できるよう一層連携を進める必要を感じたことなど、話してくれました。また、末期の利用者さん宅に訪問した際、入浴ができていない様子を見て「この人はデイサービスを利用したら入浴と家族のレスパイトにもなるのでは」と思ったそうで、両方のサービスが入っていない場合にお互いのサービスを知っていれば「つなげる」ことができると気づかれたようです。訪問看護から気軽に連絡ほしい、デイサービスの実習にもぜひ来てほしい！との感想でした。おつかれさまでした！

2018年11月15日（木）

暴力対策検討会議

事務局からの報告では、相談窓口への電話が少しずつ増えているそう。特に研修に参加してくださった方からの相談で、中には本事業の対象ではない施設からの相談もあると聞き、今後の事業のあり方を検討する機会とし、活発な議論ができました。

メンバーに研究者や弁護士がいるので、会議の場でわからないことが解決できるのは、すごいメリットだと感じています。

また、注目度としても、県の担当課長さんが婦人公論や国の会議に出ることにもなり相変わらずの注目ぶりです。研究者の三木先生から事例集のまとめ方の助言を得たので、またまた小委員会で編集会議をせねば。の前に事例集の原稿を書きなおさねば・・・がんばります。

2018年11月14日（水）

訪問看護課常勤スタッフスキルアップ研修 part1

通称わかって研修。今日はマナー、理念を中心に行いました。スタッフから業務にあたっての悩みが聴け、良い機会だったかなと思っています。訪問看護課の理念、そこから目指していることを改めて確認し、自分自身が今できることを考えてもらうこともできました。理念に基づく看護実践をもっとイメージして実践できるよう、具体的な事例を挙げて検討したかったのですが、意見交換で時間切れ。これからも、自律したティール組織になれるようスキルアップのサポートを続けていきます。来月こそ事例を通じて考える機会に♥

2018年11月13日（火）

急性期病院の皆さまとの相互研修 2日目：事例検討会

相互研修 2日目は事例検討会でした。この病院から訪問看護を依頼してもらった事例で看取りをご自宅でされた方の実践報告を、うちのスタッフがしてくれました。実はまとまった

のもギリギリで提出期限直前まで手直しを入れてもらうなど、とてもがんばってくれた今回の検討会。病院スタッフからは「事例を読むだけで涙が出る」など、在宅での様子や特徴が伝えられたようで、良かったです。かれこれ10年は続けている交流研修。次なる目標は研修にとどまらない出向事業。課題は山積していますが、実現に向けてがんばりたいです。

2018年11月10日（土）

兵庫県看護協会職能Ⅰ・Ⅱ合同交流会

中小病院、介護施設、訪問看護ステーションに参加呼びかけをし、100人の参加があった交流研修会。今回はJNAラダーの啓発に的を絞った交流会でしたので、ラダーの説明、中小病院での取り組み事例の報告ののち、事例に基づき自らのラダーレベルを判断し、グループディスカッションで意見交換しながら自分の課題と取り組みを見出す時間です。今回はグループディスカッションの説明と進行を仰せつかりました。が、用意されているスライドを使って説明したらよいと高をくくっていたら・・・それが使えないことがわかり、急いでスライドを作り直して説明、進行では皆様の素敵な発表に助けられ、何とかミッション完了。委員長からは「さすが職能Ⅱ!ぶっつけ本番もなんのその、でしたね!」とLINEグループにメッセージが（笑）。そういえば、打ち合わせなしでした・・・。

2018年11月8日（木）

推進員さんと認知症対応力を上げるための研修企画

チーム員の皆が色々な案を考えてくれるので、私は大まかに気づいたことについて意見を伝えるくらいですが、看護管理の学びはこういうところにも活かしています。取り仕切る、でなくチームがより良い結果を出すためのサポート、という役割。たまに現場に出るのも楽しい（昨日も訪問しました）。この役割（認知症支援推進室と認知症初期集中支援チーム）を担わせてもらっているおかげで、レビーの父を介護した経験や訪問看護での見立てが役立っている実感があって、楽しいです。

2018年11月7日（水）

傾聴スキル講座

先月に引き続きの講座。今回は管理職ばかりの5人グループでした。日頃忙しくてじっくりと自分のコミュニケーション・かかわりを振り返って意見交換なんて後回しになるところを、この傾聴講座をしていることで、お互いの考えていることを知り、自分の振り返りもできる機会になっています。ステーションが統合しての課題も上がっている中で、スタッフの成長を喜ぶ管理職の声は嬉しかったです。

2018年11月5日（月）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル改定版 原稿〆切

が、今日でした。無事書き上げ提出でき、一つ肩の荷がおりました～！執筆者校正をしたらあとは完成を楽しみに待つのみです。前にも書きましたが、今回は災害とスタッフ教育の経験者として、俯瞰した立場での執筆が求められていたように感じています。ここ10年ほどあちこちの地域で大きな災害が起っていますが、そこで在外時訪問看護を経験した管理

者さんたちのいる地域での取り組みも掲載される改定版。私も楽しみ～

2018年11月2日（金）

認知症初期集中支援及び認知症地域医療連携関係者スキルアップ研修会

市内のサポート医、認知症地域推進員など、関係者との議論ができた貴重な研修でした。

①兵庫県の認知症対策室が主催する、初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員、認知症サポート医、認知症疾患医療センター、行政担当者が一堂に会する研修でした。全体を通じ、このオレサポで進めてきたやり方が奏功していることも実感しました。ガバナンス構築を始めとするチームづくりがまずは小さくでも実ったことをメンバーと喜び、次のステージに進んでいきたいと思います。

2018年11月1日（木）

ケアマネに報告する実績を印刷していたら出発が遅れた！

今日は「在宅医療・介護連携を推進するための都道府県及び地方厚生局の支援のあり方に関する検討委員会」。なのに、出発が予定より遅れ、おまけに梅田は苦手な私は、やっぱり（って何だ？）ちょっと迷って5分遅れで到着。議題は、自治体へのアンケートやインタビュー内容の検討でした。研究事業の会議でいつも「ほー」と思うのは、総合研究所の方々の作業量とそのスピード。プロだなあと感心・感謝しつつ、意見も述べ、今日の重要ミッションも完了。帰りは迷わなかったけど、遠回りしてしまったかも・・・（笑）

2018年10月29日（月）

インターンシップに来ていただきました

中旬に問い合わせのあったナースがインターンシップに来てくれました。同伴訪問が終わった後のフリートークの時間。この方も、看護が大好きで訪問看護の実際を見て「ああ。やりたかった看護がここで実践されてる」と思ったそうです。訪問看護に興味を持ってくれる人は、おおむね看護がすごく好きで、もっとじっくり人と関わりたいと思っている人が多いのですが、今日の方もやはりそのようです。一緒に働ける日が来るのが楽しみです。

2018年10月26日（金）

兵庫県委託事業 訪問看護師・訪問介護員安全確保離職対策防止事業 小委員会

9月の研修会アンケートの集計のため、小委員会を開きました。事務局で一覧表にしてくれた事例にざっと目を通すとなまなましくて、ちょっと元気が奪われる感じ・・・。

訪問看護師や訪問介護員が離職せず仕事を続けられることは、利用者さんの利益につながります。従事者も利用者も暴力やハラスメントに「NO」と言える地域づくりのために、まだまだやることは山積しているのですね。がんばろう。

2018年10月23日（火）

予定帳の活用

ことしは対外的な仕事をできるだけ絞り、若手の教育にシフトしようとしているのですが、一つずつの役割のボリュームが多いので、絞っただけでは十分な時間が取れないのが悔し

い所。ICT の記録を見てハッと思ったところは、時々副所長やチーフ、時にはわかつてに直接確認しています。この時に気付いたことやしくみとして整えるべきこと等々について、予定帳の To-Do リストに入れています。変化に応じて既存の仕組みも意識的に有機的なものにしていけるようにしたいです。

2018年10月20日(土)

兵庫県看護協会職能Ⅱ委員会

今日は介護施設交流会。テーマは「高齢者施設での接遇を考える」として、社会福祉法人きらくえん 法人事務局部長の田中智子さんの講演でした。高齢者施設の立ち上げにいくつかわかる中で、接遇を始めスタッフへの教育を担う立場から、サービスの質は日常的な接遇がきちんとできて初めて担保されるので、スタッフ一人一人、気になる接遇面をラウンドして伝えている、という話をされました。心当たりあり…帰ったら共有しよう。

2018年10月17日(水)

一日あつという間

朝一から議員会館でディスカッション、昼からは統合して初めて 24 時間緊急電話の当番が集まり、対応のロールプレイとディスカッションを行いました。ロールプレイを得意とする熟練スタッフが若手スタッフに「こんな電話があったらどう対応する?」と基本と応用編を出題し、ディスカッションしました。日頃は違う拠点で活動しているスタッフ同士が顔合わせができたことが、まずは有意義だったと思います。次は、緊急対応後の担当へのフィードバックや、イレギュラー時の対応について悩んでいることがわかったので、それについて話し合う予定です。

2018年10月16日(火)

全国訪問看護事業協会 研修委員会で日帰り新宿

今日も異動 8 時間・会議 3 時間の日帰り東京の日。管理者研修のあり方をしっかり話し合いました。私は、看護管理認知看護管理者の教育課程に参加させてもらって苦労したことから発した意見を述べました。訪問看護ステーションは今や 1 万カ所超え。玉石混合の状態に必然的になっていて、訪問看護ステーションの質担保には管理者教育こそ要だと考え、計画を練っています。11 月にも引き続き会議予定。会議が延び急いで駅に向かい、kiosk で明日の 24 時間当番の打ち合わせ会に差し入れるお菓子を買って帰りました。

2018年10月15日(月)

急性期病院からの相互研修(兵庫県看護協会独自研修)に来られました

3 名の急性期病院のナースが実習に参加してくれました。同伴訪問後にフリートークの時間をとって皆さんと話をしました。病棟の退院調整ナースの皆さんだそうで、病棟スタッフに退院支援のタイミングや必要性を伝えるものの思うように伝わらない、というジレンマを抱えているそう。それって、訪問看護を長年やっていて思うことと同じなので、「タイムリーに訪問看護につなげて看看連携を実現して」と伝えました。

2018年10月13日(土)

チームコードホワイト

神戸の管理者を中心とした暴力対策検討の集まりも、残すところ2回となりました。今日は「暴力を考える要因を漏らさず検討でき、現場で共通認識を持って対応するための要員のフレームワークを考える」がテーマ。意見交換しているとあっという間に時間が経ちます。先日のハートネットTVでコメンテーターとして出演していた篠崎先生も参加。「疾患があると仕方ない」として対応が後手になり離職につながるうえ、個々の事業所でサービス利用を断るのは高いハードルがあるため、第三者が「これではサービス提供出来ない」と行為者に伝える役割に期待する、などの意見交換ができ有意義でした。

2018年10月11日(木)

認知症初期集中支援チーム 検討委員会

チーム編成後、2回目の委員会でした。私たちチーム員は事務局側に座り、委員の方々の議論を聞きます。去年より活動内容が周知され始めた印象。さらに座長である兵庫医大認知症疾患医療センター長の先生から、最後に「チームからの要望があれば」と振ってくださり、チームで相談してきたことをメンバーが伝えることができました。このチームでの仕事をさせてもらえることで、制度、行政、医師、病院、訪問看護、地域包括、ケアマネジャー、それぞれが認知症の人に向き合い、何とかしたいと思っており、その支援が私たちの役割だと思っています。認知症の当事者とその家族が安心して暮らせる地域をつくるために。

2018年10月10日(水)

神戸大学医学部実習意見交換会

神戸大学医学部5回生の学生さんが2年前から訪問看護ステーション実習に来ています。みなさん非常に真面目で熱心なので好感度が高いです。そして利用者さんが「神戸大学の先生」というだけでとても喜ばれる。さらに、こちらが見てほしいと思うところにちゃんと気づいて、それが記録にもちゃんと書かれているので、同伴訪問するスタッフも嬉しい様子。医学生に訪問看護ステーションの現場で実際を見てもらうのは長年の願いでしたが、もう10年ほど前にそれが近隣の医大からの依頼で叶い、ヤッターと思い説明に来てくださった教授にその思いを勝手に語った(笑)のをよく覚えています。受けられる実習は限られますが、多くの医学生さんに訪問看護を見て・知ってもらうことが、在宅医療推進に必ず役立つと思います。

2018年10月9日(火)

教育担当師長さんに面談

教育担当師長の役割についてレクチャーをお願いしたところ、忙しい中時間をとってくださいました。苦勞されるところはステーションでも「あるある」。教育システムをきちんと組み立てて動かしていく事はもちろん、教育する側の課題解決も重要であることを再認識。課題解決したらまた次の課題が待っています。よっしゃ。

2018年10月6日(土)

兵庫県看護協会 在宅看護連携強化事業「機能強化型訪問看護ステーション普及セミナー」
タイトルのセミナーで実践報告として「地域でのネットワークづくり」について話しました。私を含め 3 名の実践報告があり、エンディングノートを作成して地域での普及活動をしているステーション、小規模でも機能強化3をとったステーションなど、とても興味深く聴かせていただきました。

話を終えたあとは初めての「会長室」で、訪問看護師増加と多様な提供体制の推進についてお話させていただきました。前に訪問看護の研修に来てくださった時もそうでしたが、話に熱心に耳を傾けてくださり、質問の内容とタイミングが的確で、こちらもお話しやすいことに改めて感激。少しでもお役に立てて良かったと思わせるトップマネジャー。私も目指したい。

2018年10月5日（金）

計画書と報告書の発送作業

前回、効率的なやり方を引き継いでいく目的で、帳票だけでなく宛名ラベルの印刷方法までを図解したマニュアルを作成したので、今回は所長に任せて私はちょっとだけ「大丈夫か？」の確認のみ。結果、無事定刻通りに終了。事務員さんたちはやっぱり真面目できっちりさん。

2018年10月4日（木）

ハートネットTVで兵庫県の暴力対策が取り上げられました

介護ユニオンが今年ホームヘルパーに全国調査を行った結果、75%もの従事者が何らかの暴力を受けていた、との衝撃的な結果が報道されたのが夏ごろ。テレビではホームヘルパーさんに対するハラスメントの事例などが紹介され、有識者らがコメントしていました。最後の方で、暴力対策会議で一緒している県担当課長さんが登場。兵庫県の取り組みのPRにもなったかもしれません。暴力を憎んで人を憎まず。が、ベースとなる考え方では、と思っています。従事者も利用者も知識を持てるといいなと思います。

2018年10月3日（水）

阪神南ブロックの打ち合わせ会

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会のブロック打ち合わせ会。尼崎、芦屋、西宮の3市合同で毎年取り組みを続けています。これまで救急隊との意見交換会や ELNEC-J (The End-of-Life Nursing Education Consortium Japan) をして来て、さあ今度は？の話し合いです。こないだの災害はどうでしたか？の話題が近隣市でもこんなに状況が違うのか!という気付きになり、災害時対応の意見交換をしましょう、ということに。また、「9月の県の暴力対策研修会でM先生の話聞き、今回お呼びして話を聞きたい」との希望もあって、暴力対策 KYT(危険予知トレーニング)研修をお願いすることに。久しぶりにいろんな意見交換ができて楽しかったです。

2018年10月2日（火）

今日はアグレッシブじゃなかった

そして、本日東京原宿の日本看護協会出版会で編集会議でした。駅から協会までは結構な距

離、そしてすごい人々。ディオール路面店のそばにあるきれいなガラス張りの建物が協会（とは最初思えなくてわからなかった）。1階のエレベーターで神戸研修センターのセンター長に遭いご挨拶。会議では9月の大雨での当課のスタッフの動きを共有し、新しいマニュアルにスタッフへの教育をどう載せるかなど意見交換でき、方向性も決定。良かったです（笑）。

2018年10月1日（月）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル 編集者と電話会議

明日東京での編集会議に備え、私の担当部分についての詰めを電話で確認する時間…だと思っていたら、編集者がやたらアグレッシブ。たぶん私たちのグループの皆が、案が仕上がってなくて焦って怒らせたのかも。でも私にも、なぜ私にそれを相談するんだろう、私が決めていいの？という疑問も。すると「決めてください」と。え—————という感じ。でもそんなにアグレッシブにならなくても、釈然とせず受話器を置いた私。

2018年9月29日（土）

RUN伴 初参加

認知症初期集中支援チームの一員だし、と初めて参加。法人内のマラソン部で参加者募集と会費集め、Tシャツのお世話などをしてくれました。市民ボランティアの方もたくさん。「何か役に立つことができたらと思って」と、日頃のボランティア活動のきっかけを話して下さった方も。

当日はあいにくの雨。市役所前に集合すると市長や市福祉局長はじめ、保健福祉関係の人たちと、当事者や支援グループの人たちがたくさん来られていました。市役所から西宮北口まで、オレンジ色のTシャツと途中コンビニで買った透明カップを着て雨の中を歩きました。道行く人が「何事？」みたいな表情で見えていました。まあそうですね（笑）。アクタのゴール地点でみやたんと宝塚のゆるキャラさんが引き継ぎをして終了。アクタのサーティワンで私が好きなナッツのいっぱい入ったアイスを食べました。

2018年9月26日（水）

傾聴スキルフォローアップ講座

もう3年ほど、訪問看護課では常勤スタッフが傾聴スキル講座を受けています。毎回少しずつですが、傾聴が理解できるようになっていることを実感しています。今回はスタッフがお茶を勧められたときにどう対応するのが利用者にも私たちにも望ましいか、という悩ましい悩み。どのような場面でも活用できるスキルを持って一定の答えを見いだせた、皆のすっきりした顔が印象的でした。

全体研修でロールプレイをして復命してくれることになりました。がんばれ～

2018年9月22日（土）

兵庫県委託事業 訪問看護師・訪問介護員安全確保離職対策防止事業 暴力対策 研修会

本事業の検討会議で研修の内容を計画してきました。今年は、関西医科大学の三木明子先生が基調講演をしてくださいました。長年看護師が受ける暴力について研修をされてきた先

生ならではの、外国の文献や対策なども盛り込んだ、貴重でわかりやすい講義でした。印象的だったのは、参加者の多くが「暴力をふるう人」より管理体制を問題にする傾向があることでした。暴力はとにかくNOという姿勢をどの職種も貫かなければ、安全なサービス提供は実現しない事が浸透していけるよう、引き続きこの事業を続けなければならないと感じました。うちの副所長が事例報告をしました。お疲れ様～

2018年9月21日（金）

認知症初期集中支援チームとしての関わり、正解って？

チーム員が「受診に同行すると、『保証人がいなければ受診は受けられない』と言われた。自己負担分が払えなくても払えるときに払えばいいじゃないか」とやや憤慨して報告がありました。そうか～。 「管理」の考え方を伝えていくのは必要なんだ、と思ったので、少しずつ機会あるごとにと考えています。

2018年9月18日（火）

全国訪問看護事業協会 研修委員会

今年2回目の研修委員会。日帰り東京はもう慣れましたが往復8時間、会議3時間は結構ハードです。とはいえ、今後ますます期待される訪問看護の質をより向上できるよう、全国から集まった委員が真剣に議論をしています。

2018年9月14日（金）

認知症初期集中支援チーム 交流会（伊丹、尼崎、西宮）

初めてこうした機会を持ちました。

委託する自治体によって、考え方も運用のしかたも異なる当たり前のことを目の当たりに。1年半チームビルディングをやってきて思うのは、メンバーがしっかりしていることと管理的な視座を持つ者がいることの相乗効果が出てきているということ。理想は、メンバーが管理的視点も持てるようになり、私が最終的には抜けること。

2018年9月13日（木）

認知症初期集中支援チームの予算執行見込ヒアリングと訪問看護ST協議会理事会

午前中のヒアリングを終え、午後からは看護協会兵庫訪問看護ステーション連絡協議会の、看護協会のボードメンバーの顔ぶれが変わって初めての理事会。進行役の医師会の先生がうまく進行して下さったことや、オブザーバー役の協会理事さんが「訪問看護のことは現場の人たちが詳しいでしょうから」と、各圏域の訪問看護の理事の意見がとても尊重された会議でした。こうして抱えている課題が解決できればいいなと思います。

2018年9月12日（水）

ケアマネジャー更新研修B 10日目最終日

長かったケアマネジャー更新研修も今日で終了。

ケアマネジャー業務をしていたのはかれこれ16年以上前、つまり平成12年に介護保険制度が始まってすぐから3年ほどしていただけ。訪問看護は介護保険制度開始前までは在

宅療養者のサービス調整を主治医と相談し、他機関を巻き込んで一緒に動きながらやってきました。医療と生活の両面から見ることでできる訪問看護がケアマネシメントに果たす役割は変わらないと思っています。ケアマネに情報集約がされる中、連携がますます大事。

2018年9月9日（日）

保健師助産師看護師 3職能交流会 at 宝塚ソリオホール

今日は兵庫県看護協会の職能Ⅱ委員会のお仕事。3職能交流会のテーマは認知症予防に関して。兵庫県認知症対策室の柿木達也先生からの講義はとても興味深く、認知症の治療薬や予防に関する最新の知見を知ることができました。認知症初期集中支援チームのメンバーにも声かければ良かった！備忘録。

- ① アリセプトはアミロイドβを減らす効果がある。しかしこれを減らしても中核症状は改善しない。よって、諸外国では公費負担にならない。
- ② 認知症予防はMCⅠの段階で悪化予防をすることが最も効果的。
- ③ 中核症状がかなりあっても継続して行う知的活動を阻害しない。つまり認知症がかなり進行しても知的活動を続けることができる人が存在する。
- ④ 認知症予防には、運動、生活習慣病予防、頭を使う活動をセットで。

2018年9月7日（金）

訪問看護のシステムを使った実績報告その2

今日は訪問看護計画書・報告書を主治医とケアマネジャーに発送する日。

スタッフから話を聞くと、とてつもなく時間がかかっているようす。まずはスタッフ全員に計画書と報告書を仕上げてもらい期限を伝え、システムを使って一括処理、印刷。事務員さん集合して一斉に印刷したものを確認、仕分け、封入。各拠点の副所長たちが実績確定をしっかりとってくれ、かつ優秀な事務員さんたちはこっちが言わなくても細かい所を確認してくれていました。で、無事時間内に終了。今まで常勤スタッフが残業してやっていたので、働き方改革の一環と捉え、私が一旦引き取ることは必要だったなど。遅くなってごめんね。

2018年9月5日（水）

24時間当番で0時以降の出勤者の休息

法人のルールはみんなに「覚えてね」というのも申し訳ないくらい……。まあ、とにかく、24時間で緊急対応をしたスタッフの健康管理に配慮できるよう、所長・副所長が注意を払うようにしていこうと確認し合いました。

2018年9月4日（月）

大型台風

各拠点で前日から訪問調整をしていて大きな混乱はありませんでした。当課では平成24年からずっと、災害時対応力向上をめざしスタッフ全員で2か月に1回程度ですが、取り組みを続けてきました。これが功を奏したのか、連絡網としているライングループを使ったスタッフ間での情報共有もでき、混乱なく皆が対応できていました。ただここ1～2年で入職したスタッフには十分な教育ができていないのが課題です。

各地で相当な被害が出ている今回。西宮でも停電が続いている地域もあり落ち着きません。この機会に、これまでの災害対策を振り返り、今後どうしていくかを話しあおうと思います。

2018年8月31日（金）

訪問看護のシステムを使った実績報告

これまで手作業で行っていたケアマネジャーへの実績報告。大規模化をきっかけに訪問看護のシステムを使ってすることとし、まずは私がやってみています。効率的に物事を進められるように工夫するのは得意とするところ。500名以上の実績報告や報告書・計画書の発送など、これまでアナログでやっていたことを、システムを使って効率化し、スタッフや事務員さんの負担軽減に立ち上がります。

2018年8月29日（木）

ケアマネジャー更新研修B 8日目

10日間の更新研修も8日目に入りました。グループワークが多いこの研修。前回も同じグループだった看護師さん。じつはうちの訪問看護ステーションのうちのひとつで働いていた人だったことがわかりました。外で会ってもお互い気付かないものですね。

2018年8月27日（月）

講義させてもらった大学からインターンシップに

7月に訪問看護の実際を講義させてもらった大学の学生さんがインターンシップに来てくださいました。訪問に同行してもらったほか、今年入職した新卒Tさんとゆっくり話をする時間をとれたようです。私は所用で不在にしていたのですが、その学生さんからお礼のメールをいただきました。嬉しかったのでご紹介します。

「この度のインターンシップを通し、看護師として勤務した上で訪問看護をみることで、訪問看護に対する興味がより一層深まりました。私もステーションの皆さまのように、その人らしさを地域で支援できる看護に携わって参りたいと考えます。」

一緒に働ける日を楽しみにしています。

2018年8月25日（土）

日本看護管理学会学術集会 at ポートピアホテル

昨日に引き続き参加しています。日本全国から看護管理に携わる人たちがこれでもかというほど来られています。認定看護管理者の課程で一緒に学んだ仲間が受付をしていたり、サーバントリーダーのディスカッションに出たり、LINEで写真交換したりとにぎやか。たくさんの情報と課題、取り組むヒントをもらった2日間でした。

2018年8月24日（金）

日本看護管理学会学術集会 at ポートピアホテル

2年前、横浜で、神戸市立看護大学の林先生たちと研究した兵庫県内の訪問看護師が利用者家族から受ける暴力の実態について発表した思い出深い集会。今回はプライベートで2

日間参加。体一つじゃ足りないくらい、どれもこれも聴きたいものばかり。2年前はあまりそうは思わなかった。ということは、看護管理者としてちょっとは成長したのかなと。

2018年8月22日(水)

今月の「訪問看護リハビリたより」(研修時配布するスタッフへのたより)

倫理的なジレンマを解決し楽しく仕事をする

例年になく厳しい暑さの夏でした。皆さまが熱中症で入院、とかがなくホッとしています。統合による事務処理変更などもあり混乱もあったかと思えます。お疲れ様です。

さてこの季節、看取りが増える時期でもあります。様々な状況・背景の利用者さんに関わる中、看取りのみならず倫理的なジレンマを感じる事も私たちは多々ありますね。そんな時、皆さんはどうしていますか？統合後のスタッフの動きを見、話を聞いて、次のようなことを感じました。

日々のケアは倫理的な判断の繰り返しであり、ジレンマを感じる事や、倫理的な感受性を高めることが重要だと考えています。感じたことを口に出し、ジレンマをチームで話し合うことが、その人にとっての最善のケアにつながり、組織の風土を創ることになります。同じ訪問看護課の中ならば誰に相談してもいいのです。チームで相談して納得いかなければ、あなたが意見を聞いてみたい人に相談し、それをまたチームにフィードバックしたら良いのです。それが太字の意味です。相談していけないことなんて一つもありません。私への相談もぜひどうぞ。「忙しいのにいちいち一つずつそんな時間がないわ」と思ったとしたら、倫理的な課題を抱え、未解決のまま訪問看護をする＝ストレスフルな状況であり、あなたと利用者にとっての「危機」です。倫理的ジレンマを一人一人が放置せず、日々丁寧なケアの積み重ねが、その人の尊厳を支えることにつながるのです。

引用) 松江市立病院 老人看護専門看護師 吉岡佐知子さんの講演から

2018年8月21日(火)

在宅医療・介護連携を推進するための都道府県及び地方厚生局の支援のあり方に関する検討委員会

という、非常に長い研究会の委員を仰せつかり、行ってまいりました。

コアメンバーの先生から「現場に即した意見を一番出していただきありがとうございます」とご挨拶していただき、肩の荷が下りました。医療介護連携に関しては、私なりに培ってきた理念があり、それが役立つなら嬉しいです。残り数回、頑張ります。

2018年8月20日(月)

9月22日は看護協会ハーモニーホールへ！！

午前中は訪問看護師・訪問介護員の離職防止対策検討会議。9月22日の研修会についての打ち合わせは白熱しました。とっても良い研修会になりそうです！！

センターに戻ってからは今月ずーーーーーーーーーーーーーーーーっとやっている電子カルテの使い方や要望を業者に連絡し回答をもらい、それを記録に残し……。覚えきれない…(笑)

2018年8月18日(土)

兵庫県看護協会職能Ⅱ委員会

看護協会が新体制になって初めての委員会。9月、11月にある交流会、研修会についてしっかりと議論しました。特に、11月は、JNA ラダーに取り組んでもらいたい中小病院や職能Ⅱの人たちに参加してほしい！ということで、チラシまで作ったけど、アートの才能がない！(笑)

2018年8月17日(金)

コツコツ・・・

電子カルテにしてよかったのは情報共有がしやすくなったことですが、効率化にはなっていません。IT リテラシーに違いがありすぎるのも課題だし、記録そのものに関しても、マニュアル、ルールを再確認しながら書いてもらいたいところですが、現場優先なので難しいかな～の「看護記録あるある」状態です(笑)。でも、みんながラクに楽しく訪問看護を続けられる様にしますよ～！！絶対！！で、「こう書いてほしい記録」の見本と説明のたたきをコツコツ作っています。目が取れそう・・・

2018年8月16日(木)

すべての看護計画を管理者が立案？・・・

大手が発信する訪問看護ステーションの経営に関するブログで、訪問件数をふやし収益を上げるため記録を効率化するスズメが掲載されていました。「計画書は管理者である私が毎月一人で作成しています(評価も含めて)。理由は明らかで、当社は担当制ではなくチーム制を敷いており、「患者へ提供するケアの保証の全責任は管理者にある」と考えているからです。」とあり、驚きました。確かに管理者の責任、という点においてはおっしゃる通りですが、すべての看護のベースである計画書を管理者が決めたら、担当看護師の意見が反映されず、「決められたことをして帰ってくる」処置屋さんになってしまわないか…。

うちではスタッフは利用者さんのナラティブをしっかり見つめ、その人らしさを維持できるよう、看護は何をすべきか、スタッフが語り合い、頭をひねりながら看護に当たっています。時間もかかり効率的でもないし、記録が苦手な人もいますけど・・・計画立てなくていいから訪問にもっと行って、ってことでしょ？ありえないなあ・・・

2018年8月15日(水)

社会福祉士と看護師の特徴の違い

在宅NST 研究会を取りまとめる担当所長さんが北海道に転勤になられるそうです。来年の会の打ち合わせで来てもらったときにご挨拶いただき、驚きました。全国に営業所のある会社は大変ですね。その後、オレンジサポートの初回訪問をして、そのあとは会議3つ。オレサポの訪問では、看護師と違った社会福祉士の対象者さんへのアプローチの仕方や私の知らない知識を知っている様子を見て、一緒に動けるのって楽しいなあと思っています。

2018年8月10日(金)

E-ラーニングのツールに事業団訪問看護の各種マニュアル一式をアップロードしました！

昨年から所長会で一つずつ確認し、修正を加えていたマニュアル。

一式がアップロードできました。

あらためて見てみたら、ステキ〜♥♥自画自賛(笑)

理念、記録、倫理、マナーなどなど。

困った時、迷った時に立ち戻れるものがあるって、大切だと思っています。

2018年8月9日(木)

運営・経営上の課題

年1回、「SWOT分析」「現状と課題」を法人本部とのヒアリングのため提出します。今回は第3次中期行動計画も一緒に提出です。明日が期限なのですが、訪問看護と認知症初期集中支援チームのある認知症支援推進室の分、2種類のタスク。がんばってまーす。

2018年8月8日(水)

オレンジサポートの納涼会でした

認知症初期集中支援チーム(通称：オレサポ)の納涼会でした。

その場所に行くのに、バスに乗ると一番近い、と思って乗ったバスが何故か違うところに行ってしまう、30分も遅刻。「そんなことするんやね?!」と驚かれた私です(汗)

2018年8月7日(火)

統合後、はじめての・・・

これまで3拠点別々で行っていた、主治医宛の報告書、計画書送付を統合したので一括して行わねばなりません。電子カルテシステムを使った方法でやるのも初めてなので、先日からシミュレーションをして、間違いのないように取り組みました。この規模で一括処理をしようとする、やはり日々、正確な情報入力をスタッフができるようにするしかない!と確信した一日でした。

2018年8月3日(金)

忘れてました!

見てください!クールマックスはいりました~!涼しさが違います。

ほとんど事務所にいる私でさえわかる(@_@)。さわやか~



2018年8月2日(木)

E-ラーニングのコンテンツに入れ込み開始!当課の業務マニュアル

自己学習支援のためにタブレットで見られるコンテンツを使っています。

実はこれがとても優秀なもので、うちのマニュアルを載せられるのです。

1年ほどかけ、元々作っていたマニュアルに所長たちが手を入れてたたきを作成。
これの体裁をさらに整え、コンテンツで見やすくする作業中。内容もついでと見直しているのが遠い・・・訪問看護経験の浅いスタッフが理念に基づく看護実践をするのに、役立つといいな。

2018年8月1日(水)

統合後初めての月末月初の事務処理のこと

土曜日の研修会場が冷房効きすぎて寒かった～と思ったら夏風邪で日曜日から調子が悪く、ごほごほ咳も出ていて、マスク着用中。目もかゆいのでアレルギーも出ているかも。

7月に統合して初めての月末月初の事務処理。事務員さんが集合して取り組んでくれますが、課題もたくさんあります。私の役割は「現場でやっていることが評価される」ことを主眼に、対外的に制度やしくみが動くようにすることだと考え、頑張っています。それができるのは、組織で支えてくれる人がいるからなのですが、普段のことは信頼するその人たちに任せ、私が支える役割をしている、と思っています。今回の目の前の課題も、そんな風に乗切れるかな～と思っています。

私の願いは常に「スタッフみんなが仕事も生活も充実できて、楽しく過ごせる」。この実現が理念の実現に必ずつながると信じてます。

2018年7月31日(火)

災害対応マニュアルの編集会議

表参道の日本看護協会のビルにある出版会のフロアで。駅を降りてからたどり着くまで、どこもかしこもこの暑いのに人であふれていて、それだけで疲れました(汗)。

今年はすでに複数の災害が起こっており、刊行を早くという声も多いそうで、前倒しで年度末より早く、を目指すということです。会議も白熱していて、きっと良いものになる予感・・・

2018年7月28日(土)

阪神在宅NST研究会世話人と研修会

何年か前に訪問看護ステーションの多機能化モデル事業で管理栄養士さんと取り組み、現在も研究を継続中の在宅栄養管理についてお話ししたご縁で、世話人をさせてもらっています。来年は10周年ということで、これまでにない企画になりそう！

野原先生の講演は是非、病院の人に聞いてもらいたい！武庫川の福尾先生はがんの栄養管理の講演をしてくださり、最も印象に残ったのは、末期の方に高カロリー輸液という選択がなぜだめか、というところでした。

2018年7月27日(金)

増えている、大病院からの早期の訪問看護相談！

退院が未定だけど、今後に向けたカンファレンスを行うので、訪問看護ステーションからも参加を、という連絡が増えているようです。移動や会議参加にはけっこうな時間を要することや、退院されなかった場合には全く収入にならない、ということもあるけれど、何より早い段階から「一緒に考えてほしい」と訪問看護にラブコールを送ってくれる病院が増えてく

れるのは悲願でした！！スタッフにもプラス思考で考えてどしどし対応していきます！

2018年7月26日（木）

メディカルケアネット西宮の圏域事例検討会

訪問看護師が受ける暴力に関する研究から、県の訪問看護師・訪問介護員の離職防止対策検討委員会でのマニュアル作成等に至る経緯について紹介を、との依頼を受け久しぶりに参加させてもらいました。事例検討では、多くのグループで「思いを知る」ことの大切さを発表され、さすがと思いました。私からは、経緯のほかに正しい知識と対応が地域づくりにつながる、ということを伝えました。また、精神科のドクターから「信頼関係が疾患対応に増して大事」（実際にはもっと詳しく話して下さった）と話がありました。

そう。行為や事象ばかりに気をとられず、理由を知り本人や家族の思いに寄り添える人でありたい。これはずっとの思いです。

2018年7月25日（水）

新採用スタッフとの面談

甲子園の新採用スタッフと面談。小さい子供さんがいる若手スタッフでこれからの期待！住環境福祉コーディネーターの勉強を家事育児の合間にして、試験を受けたと聞きました。すごいなあ。そのバイタリティでどんどんいろんなことを吸収して、訪問看護を楽しんでほしいなあと思います。

2018年7月24日（火）

暑さ対策

若手スタッフに考えてもらっていたのですが、悩みのスパイラルに入ったもよう（笑）。結局、スタッフからの意見を聞くと「スクラブが暑い」が多数。スクラブというのはナースの上着のこと。確かに室内用でいかにも暑い素材。素材も見た目も涼しいのを買いつつことに。台風が来て去ると涼しくなるかなあ。お品が来たら写真、アップします。

2018年7月23日（月）

学生さんの感想「訪問看護への愛を感じました」

この前の講義で、学生さんから「就職先の選択肢として訪問看護も視野に入れようと思った」という嬉しい感想がたくさんありました。

そして「訪問看護へのやまさきさんの愛を感じた」という感想。けっこうありました。

大学の先生から「愛を感じるというコメントは、（親の子どもへの愛はあるかもしれませんが）他の講義ではほとんどありません。山崎さんから、訪問看護への愛がほとばしっていたんですね！」。そうだと嬉しい！訪問看護大好き宣言、いつも講義の時にする私としては。

2018年7月20日（金）

大規模化後初めての納涼会

若い人が増えているうちの訪問看護ステーション。食べっぷりもさすがの若さで、圧倒されました（笑）。「恋バナ」というらしい、恋愛トークも炸裂していました（笑）。みんなが元

気に明るく楽しく、仕事を続けていけるよう、私もできることをがんばっていきます。

2018年7月19日（木）

訪問看護師が受ける暴力対策、国での取り組みへ。

関西医大の三木先生からメンバーに連絡いただいたメールです。転記します。暴力対策に何年も関わらせてもらい、市、県、国が動いていく様子を目の当たりにし、かつ、驚いています。暴力対策をきちんとできることは、利用者さんが望めば訪問看護や訪問介護が受けられる地域づくりでもあります。従事者である私たちが、正しい知識を持ち対応できることが、利用者さんの生活を守る、との思いは変わりません。

7/15(日) 7:10 配信 毎日新聞

介護職員や看護師が利用者とその家族からセクハラや暴力・暴言を受けている問題で、厚生労働省は、今年度中に事業者向けの対応マニュアルを作成する。防止策に加え、被害に遭った際の対応策も盛り込む。初の実態調査も実施する。労働環境の改善を図るとともに、職員を集めやすくする狙いもある。

主な調査対象は、ホームヘルパーらが入浴介助など身の回りの世話をする「訪問介護」と、看護師らが服薬指導などをする「訪問看護」。女性職員が1人で個人宅を訪れることが多く、セクハラや暴言などの嫌がらせに遭うリスクが高い。

介護職員の労働組合「日本介護クラフトユニオン」が今春実施した調査では、組合員の3割がセクハラ、7割が暴言や強要などを受けた経験があった。林千冬・神戸市看護大学教授（看護管理学）らが2015年度に兵庫県内の看護師に実施した調査では、職場に報告した人のうち17%が「何も対応を受けなかった」と回答。被害への対応に問題のあるケースもみられた。こうした声を踏まえ、同ユニオンや日本看護協会が厚労省に対応を求めている。

被害防止のために2人で訪問するなどの対応をしている事業者もある。厚労省は、こうした取り組みを調べ、マニュアルを作成。併せて調査結果を分析し、次の介護報酬改定（21年度）に向けて必要に応じ対策も検討する。【原田啓之】

2018年7月18日（水）

枚方は遠かったです。

人材育成について、新設の在宅看護のCNSコースで話す機会をいただき行ってきました。枚方があんなに遠いなんて（泣）。暴力の検討会で一緒にいる先生が顔を見に来てくださったり、講義に入ってくださいたり。取り組んできた事に、興味を持って聞いていただけ、質問もたくさんいただきました。これからも頑張ろうと思える機会となり、感謝です。

2018年7月17日（火）

スタッフへの伝達事項を整理・・・

集合しての研修会となった明日の事例検討会の準備のため、課長補佐とともにスタッフへの伝達事項を整理・・・うちでは傾聴を継続して学んでいるので「互いの確認が重要」と理解しているので、しっかりとスタッフに理解してもらいたいことが確認できました。

2018年7月14日（土）

新任管理者研修会 司会 2日目

全国訪問看護事業協会主催の研修で司会。講師の方とついつい話し込み（じつはこれが楽しみ）、事務局の方が予備に来てくださると言うていたらく。最後のグループワークでファシリして「経験を経てようやく、突っ込んで考え管理ができるようになるんだなあ・・・」という、この当たり前を忘れていたなあ・・・としみじみ。自分の身についていることを、人に分かるよう言語化のは私が苦手とするところ。現場での教育も悩みつつです。全国から150名もの管理者さんたちがみっちり学んだ2日間。私も色々振り返りさせてもらいました。

2018年7月13日（金）

認定看護管理者、合格しました

研修に出してくれた訪問看護課の皆に心から感謝・・・とともに、本当に肩の荷が下りた感じです。「またあんな苦勞をしなくて済んだ」というような（笑）。ありがとうございます！関係ないけど、今朝起きたらぎっくり腰症状があり、痛み止めを飲んでやり過ごしました。たぶん、この前の7時間車内閉じ込めがアダに・・・うう。明日、大丈夫かしら。

2018年7月12日（木）

タブレット端末の弊害

便利だけど、真面目なナースたちは、持っていたらついつい見てしまうみたいで・・・。
この猛暑、当番じゃない日は、夜ゆっくり休もうね！夏バテしちゃうよ～

2018年7月11日（水）

理念を現場の事務員さんにも伝えていく

大規模化による事務作業やこまごましたことの変更にあたって、今日は確認のために、現場の事務員さんたちと、課題洗い出しや共通認識の機会でした。事務員さんは看護師が気付かないようなこまごましたことを担ってくれる、頼りになる存在。訪問看護課の理念を理解したうえで、一緒に働いてもらうことが大事だと、ずっと思ってやってきました。ここ数年で拠点が増えましたが、各拠点の責任者たちが同じように継続してくれていると思います。

2018年7月10日（火）

大学で講義

毎年、「訪問看護の実際」として看護学部3回生に講義させていただいています。学生さんのレポートが毎回素晴らしすぎて驚きます。2コマの講義でこんなに理解できる人ならぜひうちにと（笑）いつも思っています。先生に伝えたら今の若い人は文章を書かせると本当にしっかりと書くけれど、喋らせるとうまく伝わらないとのこと。へえ～意外です。

2018年7月9日（月）

日常が取り戻された

このたびの大雨で被害に遭われた方におくやみとお見舞いを申し上げます。
日に日に被害の甚大さが明らかになり、心がざわざわしてしまいます。
しかし、まわりでは通常通り電車も動き、センターも通常通りの動きになっています。

今日は、新しい事務員さんに訪問看護事業のレクチャー、副所長からの各種相談や文書作成や修正、認知症初期集中支援チーム員会議、パンフレット印刷の打ち合わせなどで一日あっという間でした。

2018年7月6日（金）

梅雨前線に伴う大雨の対策

昨日から各地で警報が頻発しています。電車も不通になっており、車で出勤。予想以上に混雑しており、車中でスタッフと利用者さんの安全確認・確保についてと、長期化に備え重症者さんらへの対応準備など、確認の line メッセージを各拠点の所長に送りました。それぞれの所長たちはスタッフと共に、子供さんの学校がお休みになったスタッフや出勤できないスタッフの訪問調整や、独居などで気がかりな利用者さんへの連絡をしていました。避難勧告区域もあったものの、避難された利用者さんも幸いおられない様子。今回わかったのは、南側と北側で道路の水はけ状況が異なること。甲子園の方はバイクや自転車での移動は危険が伴う、とスタッフと相談し対策をとってもらいました。いずれの拠点でもほぼキャンセルなく対応、逆に利用者さんが「あら、今日はお休みかと思った」と反応があったそうです。

電車不通になる中、私も三宮方面のスタッフ 2 名を送り届けるべく 18 時過ぎに退社。しかし、三宮周辺到着は 22 時過ぎ、さらに自宅到着は深夜 1 時過ぎ・・・車中ではプライベートのことを話題にしたり、災害対応に関して入職 2 年未満のスタッフへの周知が課題と考えていることを話しました。

普通の生活ができるって、当たり前じゃないんですねえ。改めて。

2018年7月4日（水）

認知症対応力向上研修の企画

推進員さんとオレンジサポート合同でやりましょう、と相談している研修。

今日は、西宮市の人も入って具体化しました。ここでもそれぞれの考え、伝えたい意図、受取手の考え、伝わっている内容の確認をしながら、進めていく事の必要性を痛感しています。

2018年7月3日（火）

傾聴スキルを活かす

傾聴スキルの講座を受けていることは、前にこちらでお伝えしました。それでも、確認不足や思い込みから起こっているであろう課題に一つずつ向き合い、解決に向け取り組めるよう、課長補佐と話し合いながら具体策を練っています。2 人の間でも同じようなことが起こります。常に傾聴は課題ですね。

2018年7月2日（月）

西宮市訪問看護センターが機能強化型訪問看護ステーションⅠとして再スタート

今日から2サテライトを要する機能強化型訪問看護ステーションとして再スタートします。大規模化によるメリットを最大限生かし、利用者さんにタイムリーで安心な訪問看護が提供できるよう、スタッフ一同、頑張っていきます。

2018年6月29日（金）

新卒訪問看護師の実習開始ご挨拶&プライベートで旧知の友人と食事に

7月より3人目の新卒訪問看護師が病棟実習にうかがうため、打ち合わせとご挨拶に。病院の体制変更で教育担当次長さんも初対面。過去の新卒訪問看護師が病院スタッフと懇意にさせてもらっていたり、指導者の方に気にかけていただいたり、病院実習での学びを訪問看護実践に大いに活かしていると言う当事者たちの話を伝えたら、とても喜んでもらえました。

夜には本当に久しぶりに会えた友人と美味しい食事とワインを楽しみました。友人、と言っても仕事で意気投合して仲良くなった同い年の看護職。本当にステキな人で、部下は安心だろうな～といつも思います。じつは、病院での退院支援カンファレンス参加や看看連携研修は、この人と一緒に取り組んできたものが、継続した取り組みになったもの。近況やこれからの展望、たくさん話しました。彼女は異動でこれまでにない経験をしているようですが、次の重要な役割を担うためだろうと勝手に想像し、応援しています。

2018年6月18日（月）地震時の対応まとめ

当日書けなかったので、改めてまとめてみました。

7:59 通勤中、地下にいて揺れを感じ、緊急警報が鳴り響く。すぐに当課の管理職グループlineで状況確認しようとするが文字入力できない。スタンプ送信。10分程度で文字入力可能に。電車は運転再開の様子がなく、すぐに近くの大学病院まで向かってタクシーに乗り、自宅に戻って車で出勤。さすがに混んでいて10時ごろ到着。車中でも管理者たちとlineで連絡取り合う。大きな被害はなく安否情報も地震直後より、スタッフから続々送られている、と報告あり。子供さんの休校があるスタッフは休み、呼吸器装着者の安否確認、訪問は出勤したスタッフで調整、など、サクサクと必要なことに取り組んでくれていました。

高槻出身のスタッフに声掛けをしたり、看護協会の職能委員会のライングループで情報共有したり。個人情報ではない情報交換にラインでのやり取りはタイムリーで良かったです。

あとで所長たちと振り返ったこと

- 平成24年度の訪問看護ステーションネットワーク西宮で取り組んだ、災害対応マニュアル作成にかかる一連の研修を継続していたので、大きな助けになった。
- 訪問看護ステーションネットワーク西宮の管理者会議では、災害対応の取り組みを継続しているステーションは当課のステーションのみだった。
- この研修に参加できていない、入職2年未満のスタッフに災害対策の教育が必要。

今回の地震では阪神淡路大震災のような大きな被害はなかったものの、被災経験者は思わず体が固まってしまう、フラッシュバックでパニックになる、などの反応も少なからずあったそうです。わたしたちにできることは、非常時にもなるだけ早期に通常業務を取り戻すこと。そのために必要な備えを、引き続き、さらに、日常的な取り組みに落とし込んでおかないと、と改めて感じました。

2018年6月28日（木）

兵庫民間病院協会 看護部長会で話をしました

午前中は事務員さんと面談のため移動。

午後からフロンテで標記の研修会に登壇させていただきました。

阪神西ブロックの民間病院の看護部長様ばかりの研修会で、テーマは

「訪問看護師から見た在宅支援の現状について」。

ここでも、職能集会同様、看看連携にもっと目を向けて看護課題の解決を、というところに絞った話を。

退院直後の 2 週間、特別指示書による訪問看護が普通になるために、トップマネジャーの皆さまがぜひ、訪問看護ステーションに実習に来てください！とお伝えしました。

実現すると、絶対地域が変わるはず。

「誰もが住み慣れた場所で最期まで過ごせる」そんな地域にです。

2018年6月27日（水）

なんだか疲労が

先週からバタバタとして疲れているなあという自覚があります。

でも7月1日を無事に迎えられる様、頑張らねば。

というわけで、今日は午前が認知症初期集中支援チーム員会議。ここで懐かしい人にあいました。昔うちで訪問看護師をしていた人が、よそで包括職員になっていて、再開をひとしきり喜び合いました。午後からは再々のステーション大規模化にかかる確認。

そろそろ、頭が回らなくなってきた・・・

2018年6月26日（火）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル編集会議

新幹線では木曜日に登壇させていただく際の資料作成と、今日の会議で使う資料や提案する内容のチェックをしていたらすぐでした。予定時間を30分オーバーし、充実した会議になりました。タイミングがいいのか悪いのか、18日の地震の時にどのように対応したか、という話題提供もできました。うちは、前回のマニュアル作成にも関わらせてもらった、阪神淡路大震災の被災ステーションです。20年以上になってしまいましたが、そのあとの取り組みを、まだ取組んでいないステーションが知って活用したいと思えるよう、編集・執筆に当たります。

2018年6月25日（月）

7月1日に向けた最終確認中

以前よりここでもお伝えしていますが、7月1日より機能強化型訪問看護ステーションⅠとして、サテライト事業所2か所を併設し再出発します。その最終確認にこのところ、ずーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーと、とりかかっています。頭の整理が追い付きません。

2018年6月22日（金）

オレンジサポートのWEB会議

認知症初期集中支援の新規依頼が増えてきたので、朝のカンファレンスをするということで、場所の離れた私も毎朝参加できるように、とお試ししていたWEB会議。良し悪しがあり、結局、朝の会議をやっていないということで、導入は見合わせました。移動コストと会議の効果を天秤にかける、って経験をしました ♪

2018年6月21日(木)

兵庫県看護協会職能集会Ⅰ・Ⅱ

病院から地域に期待すること、地域から病院に期待すること～訪問看護の立場から～

として、登壇の機会をいただきました。発言時間は15分。看看連携に絞って絞って・・・話しました。伝わっているといいなあ。

シンポジスト4名(県監理部長、看護部長、包括看護師と私)で昼食をとらせていただき、振り返りもできました。

2018年6月20日(水)

全国訪問看護事業協会理事会、総会、暴力研修会、都道府県ST協議会交流会、そして兵庫県看護協会職能Ⅱの懇親会

やたら長いタイトルは、本当に長い一日だったから。でも充実していました。

往復の新幹線(昨日今日)では明日の職能集会で登壇するための資料の変更を、しぶとく(?)やっ、あっという間に3時間弱過ごしました。

職能Ⅱの懇親会では、卒業の方を送り出しました。せっかとお近づきになった施設のトップマネジャーの皆様。きっとこれからも何かあれば、連絡させていただきます。寂しい～

2018年6月19日(火)

ケアマネジャー更新研修

今日は座学。在宅医療をされている医師が講師になっている单元での話。

「ケアマネジャーはこんなことをすべて覚えようとするのではなく、きちんと在宅医と訪問看護師に分からないことを聞きなさい」と繰り返し言われていました。

そう！うちでもケアマネの良き相談者になろう、と言い続けています。そうなるかな？

2018年6月18日(月)

怒涛の1週間のはじまり

今週、ここに来るのは2日だけ。ケアマネ更新研修、出張、職能集会での登壇が重なっていて、悲しい・・・

2018年6月15日(金)

群馬からの来客

高崎保健医療大学講師で診療情報管理士指導者のO先生が災害時の話を聞きにお越しくださいました。初対面でしたが「ほぼ同級生」だからか話が弾み、災害だけでなく請求業務のあり方に関する意見でも意気投合。1時間の予定が2時間半にも。楽しく貴重な時間でした。

2018年6月14日(木)

障害者相談支援センターの相談支援専門員さんと

事業団の訪問看護に医療的ケアのある小児患者さんをつなげてくださったご縁で、かれこ

れ20年くらいのお付き合いのあるMさん。利用者さんのカンファレンスで来てくださり、私にも会いに来てくださいました。西宮の障害児対応と言えばこの人。ものすごく久しぶりに元気な顔が見られて、嬉しかったです。

2018年6月13日（水）

傾聴スキル講座

午前中は訪問看護課の正規職員が定例的に受けている傾聴スキル講座。これを始めてから、徐々にですが、職員は相手が何を求めているのか、コアになるところに気付くように。また、各々が自分のコミュニケーションの傾向を客観的に振り返るようになっていきます。私自身、毎回多くの気づきや学びがあります。今日もそうでした。

2018年6月11日（月）

認知症支援推進室としての仕事一色の日

午前中は西宮市の認知症関連会議。課題を共有し、対策が出てきました。午後からは認知症初期集中支援チーム員会議。司会の役割なのですが、ちょっとずつコツがわかってきました。認知症支援、ほんとうに大切に、課題も多くて、訪問看護同様にやりがいを感じています。

2018年6月9日（土）

訪問看護師が受ける暴力対策検討会

今日は有志で続けている会合。かれこれ4年ほどになります。暴力チェックリストの検討と、事例検討をしました。医師、訪問看護師、臨床心理士、弁護士、薬剤師、介護福祉士、大学教員が集合し、多様な意見交換をしています。集中したので終了後はボーっとしました（笑）

2018年6月7日（木）

ケアマネジャー更新研修

昨日、今日の2日間、グループワークでびっちり演習でした。6人のうち3人が看護職で病院の看護部長さんまでおられました。素敵と思ったのは、「退院する人だれにでも訪問看護は必要」と述べてくださったこと。トップマネジャーがそうした意識を持ってくだされば、地域は変わると思います。

2018年6月5日（火）

健康診断

毎年の職場健診。いつもだいたいA判定の健康優良児です。ただ、去年、加齢のためか中性脂肪が急激に上がっていたので、何が原因だったのかと、気がかりでした。今年はどうかなあ。採血が痛くて嫌でしたが仕方ない。うちの新卒さんの練習台になってもいいのですが、それもちっと怖い気も（笑）。

2018年5月31日（木）

久しぶりの現場♪

訪問に出たいけど管理職なのでなかなかその機会を作れません。

今日はオレサポの対象者のお宅に訪問しました。雨降りなのでカッパを着て電動自転車で。スタッフが「ええっ!？」と意外そうにしていました。私はほんとに現場が大好き。管理職の仕事も訪問看護のいろんな役割の仕事もうっちゃって、いろんな人のお宅に訪問に行っていたい。今日、利用者さんと話できて、楽しかったなあ。管理職の仕事は増えることがあっても、減ることは全然なし。看護管理も面白いです。

2018年5月30日(水)

訪問看護 WEB 会議

うちのU補佐が一昨年からWEB会議WEG会議、と言っていました(笑)。そしたら、デイサービスで使っている物を貸していただけることに。

デイサービス担当の事務方さんに、ずいぶんと助けてもらっての初トライでしたが、「あれ。もうこんな事までやってる。すごい。」と、所長たちのスピード感とチャレンジ精神を褒め(?)てもらいました。

あまりいいイメージは持っていなかったのですが、移動せずに顔を合わせて話をする目的は、8割がた、かなうかなあ、という感じ。文明の利器ですねえ。でも高いなあ(笑)。

2018年5月29日(火)

今日思ったこと

看取った父は、レビー小体型認知症だったので、認知症がある方を支えるご家族の苦労は本当に、他人事とは思えない私です(過去ブログに詳細あり)。今日ご相談にみえた方も、すぐにでも支援が必要と感じました。が、悲しいかな、訪問看護は指示書があるし、指示書なしでできることからだけでも、と言っても限られます。

色々な相談窓口があちこちにありますが、どの窓口に相談するにしても、タイムリーな支援をいかに行えるかが鍵です。タイムリーにできなければ、10の価値が1とか2になることも、珍しくありません。なんだかなあ、です。訪問看護経験者が対応する一本化された窓口が標準になればなあ。

2018年5月28日(月)

オレンジサポート(認知症初期集中支援チーム)チーム員会議の日

新しいご依頼が増えていきます。チーム員会議では新しく関わり始めた方について、担当の地域包括の方にも来てもらって、認知症サポート医の先生と今後について検討し、役割を決めていきます。初期集中支援は6か月が目安で、適切な医療と支援につなぐことが大切な役割なので、この会議はとても重要。進行を担当していて心を砕くのは、包括(又はケアマネ)が思いを出せて経血の方向性が見いだせたか、疑問を多く残していないか、ということ。限られた時間の中ですべてが叶うことは難しい。でもそこを可能にできるよう、努力中です。

2018年5月24日(木)

委員長さん実習最終日、そして県訪問看護ステーション連絡協議会理事会

午前中は委員長さんとゆっくり色々な話をさせていただきました。

多様な視点からのご質問にお答えすることで、改めての学びがありました。そして、「医療機関の部長さんたちにぜひ訪問看護を見に来ていただきたい」と、お伝えできました。これは、看護部長さんにお会いする機会があるたび、お伝えしてきた事です。委員長さんが実習に来てくださったことで、私の念願がまた一つ、叶いました。

お昼からは表題の会議に参加。今後の課題を深く考える機会となりました。

2018年5月22日（火）

職能Ⅰの委員長さんが訪問看護実習に

来てくださっています。看護も看護管理もご経験豊富な方なので、私が指南を受けたいのが本音のところですが、訪問看護の魅力とか課題を知っていただけたらいいなと思います。それと、昨日、インターンシップに来てくれた際に、小一時間ほど話した看護師さんからサンキューメールが。「この度のインターンシップを通し、看護師として勤務した上で訪問看護をみることができ、訪問看護に対する興味がより一層深まりました。私もステーションの皆さまのように、その人らしさを地域で支援できる看護に携わって参りたいと考えます。」って書いてくださっていました。うれしいです～

2018年5月21日（月）

兵庫県訪問看護師・訪問介護員が受ける暴力対策検討会議

今年度第1回の会議でした。昨年度の青果物「暴力対策マニュアル」「ポスター」「リーフレット」の完成版が配布され、県の担当課長より「この1年間であらたな成果を」とご挨拶が。メンバーも去年と一緒だったからか、活発に議論がすすみました。電話相談も少しずつ増えているそう。大切な役割です。今年も頑張ります。

2018年5月18日（金）

兵庫県看護協会職能Ⅱ委員会&事務職員さん送別会

6月の総会に向けた、職能Ⅰ・Ⅱの合同打ち合わせ。こんなふうに、総会や研修会などの準備を、忙しい人たちがしてくださっていたことを、この委員会に出てから初めて知りました。医療機関では当たり前でも、訪問看護ステーションではそうでないこと、たくさんあります。夜は4月に異動した訪問看護担当事務職員の送別会。〇所長お気に入りの場所で、おいしいお食事をいただき、ゆっくりしました～

2018年5月16日（水）

毎年恒例の写真撮影

全体研修会で毎年恒例の集合写真を撮りました。

全員集合してにぎやかでした。



西宮市社会福祉事業団 訪問看護課 平成30年5月16日

2018年5月15日(火)

認知症関連会議

今朝は、西宮市の認知症に関連した取り組みに関する、関係者が集まる会議でした。今日のテーマは認知症初期集中支援チームにがっつり関連した「早期発見・早期対応」についての協議でした。これから具体的に進めるべきことの相談・競技もでき、有意義でした。

2018年5月14日(月)

インターンシップの申し込み

ホームページを見てインターンシップを受けてみたいと連絡がありました。病院で勤務していて将来は訪問看護をしたい、と思っていたそうです。日本看護協会が推進している出向制度も条件が合えば、使ってみたいなあと思います。うちは医療法人でない分、人材確保の工夫はすごく必要なので・・・

2018年5月11日(金)

新人訪問看護師基礎研修

全国訪問看護事業協会主催の標記研修。グループワークのファシリにいらっしゃいました。参加者は何と160名。医療機関内の異動で訪問看護師になった人も多く、病床機能再編の波がここにも。新卒者の参加も複数あり、新卒育成の広がりも感じました。嬉しかったのは、病院から訪問看護に移動した人たちが「生活が見えていなかったことに気付いた」と口々に言われていたこと。ぜひそれを病院の仲間と共有し、退院支援に生かしてほしいですね。ファシリした4つのグループすべて、手上げして成果発表されました。

さすが大阪と講師 談(笑)。

2018年5月10日（木）

連携ツールの試用開始といちごのおくりもの

ICTを活用した情報連携ツールの説明をしに来ていただきました。
たのしい！べんり！所長たちは（私もですが 笑）ノリノリでツールを試していました。
使い方のイメージはできています。みんなが混乱せず活用できたら、助かりそう！楽しみです。
会議を終えて席に戻ると、みんなの席に真っ赤な大きいイチゴがたくさん！ 2年目新卒Nさんのおばあさまの趣味の畑から、「みんなに」と大量におかあさまが運んでくださったそう。朝摘みの新鮮なイチゴはツヤツヤでキラキラしていました。お二人で時間をかけて摘んでくださったのかと思うと、ほんとうに感激です～。

2018年5月9日（水）

ケアマネジャー更新研修

4日目になります。今回は実務研修と一緒の会場でおそらく1000人はいたのではないのでしょうか。看取りのケアプラン作成に関する講義でした。訪問看護をしていた地域包括支援センターの看護師、ということで、実例を豊富に紹介されつつ、ケアマネジャーにとって重要なポイントを話されました。

2018年5月7日（月）

今年入職の3人目の新卒看護師ブログ

連休に入る前に3人目の新人さんのブログをアップしてくれました。
タイトルが「3代目新卒訪問看護師」。私の世代では3代目といえば〇〇ぐみ、ですが（笑）
20～30代は「ジェイソウルブラザーズ」だそうです。ジェネレーションギャップ!?

2018年5月2日（水）

ここでの看護実践を外からの目で見ってもらうこと

29年度は9名がインターンシップを経験しに来てくれました。
30年度は4月に1名、そして昨日問い合わせのあった方で2人目です。
当センターにはこのインターンシップや看護大学・看護学校の実習生さんをはじめ、医学生、認定課程で学ぶ看護師、大学教員、看護協会の関係者の方々など、ほんとうに色々な方々が実習に来てくださいます。「看護実践を外からの目で見ってもらうことが、独りよがりの訪問看護でなく、利用者さんに寄り添う訪問看護につながっていく」という設立時からの考え方を。これからも引き継いでいきたいと思います。

2018年5月1日（火）

メンターの役割として

新卒者や入職3年未満のスタッフへのOJT。管理者やチーフ、現場のスタッフのみんなが担ってくれます。私は援助、助言、相談を受けるというメンターとしての役割を担っています。これがとても新鮮！楽しい！私自身がどう伝え、どう投げかけたら効果的な支援になるのか、反応を記録や実践を通して確認しながらやっています。
どんどん相談に来て、考えて、自分自身の引出しを増やして行ってほしいなと思います。

2018年4月27日（金）

インクルーシブ教育実現に向けて…

重症心身障害児施設のコーディネーターさんが来てくださいました。

長年お付き合いはあり、相談ごとなどのやりとりもしてはいますが、ちゃんとした形で意見交換をするのは初めて。県が医療的ケアの支援関係者連絡会議を立ち上げたことや児童デイの動きなども教えてくださいました。知らないこともまだまだたくさんあって、学校への支援開始をきっかけに、コンフリクトの解消も視野に入れ、やるべきことを見極めてしっかりやっていきたいと思います。

2018年4月26日（木）

認知症支援推進員さんとの会議

去年から認知症初期集中支援チームの委託を受けての業務を行っています。その中で、これまで市内で認知症支援を推進してこられた推進員さんとの会議を始めました。

今年度の取り組みとして、支援者支援を考えています。今日はその具体の打ち合わせ。

それぞれの立場で大切にしている想いを重ねて、良いものにできるといいなと思います。

2018年4月25日（水）

新しい事務員さん

今日は5月から一緒に働いていただく事務員さんのことなど、ほぼ一日中人のことで走り回っていました。新しい仲間との出会いは楽しみでもあります。訪問看護の事務さんは、利用者さんやケアマネ、主治医、病院等々との電話対応や請求業務のための種々の書類作成や確認作業、送付作業等々、ほんとうに多岐に渡り大変ですが、とてもやりがいのある仕事だと思います。しかも！訪問看護制度のことがよくわかり、身内の介護にきっと活かせます。

2018年4月24日（火）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル 編集委員会



この本は第2版。第1版は阪神淡路大震災の翌年発行（絶版）。この2版を再編集して発刊することになり、今日はその初回打合せでした。

阪神淡路大震災のあと、全国あちこちで大きな災害が続いたことから、今回の編集委員兼執筆担当は東北から九州まで、過酷な経験を乗り越えられた管理者さんたちが集合。それぞれの熱い思いがたくさんあり、意見交換では時間が足りないほど。というわけで次回はちょー！時間の会議とあいなりそうです。準備だあ・・・やること山積（笑）

2018年4月23日（月）

新たな教育体系の可視化

29年度には新たに7人の訪問看護師が仲間になりました。4月には3人目となる新卒ナースも入職しました。これまで実践してきた教育体系を見直し、看護実践力とアセスメント力向上、そして理念の理解や倫理課題への対応強化が図れるような教育体系に見直しました。それを可視化しようと奮闘しています（汗）。

2018年4月20日（金）

今日もバタバタ

午前中は、医療的なケアのある子供さんの通学支援に協力し始めている関係で、教育委員会の方と今年何回お会いしたかしらというくらい、何回目かの面会。通学が軌道に乗っていることをとても喜ばれている様子が見てとれ、やっぱりもとは先生なんだなあと…。

毎月2回程度のチーム員会議。司会をしています。新規事例が多く、関係者に参加していただき事例検討を深めると、時間が足りなくなってきました。考えねば。

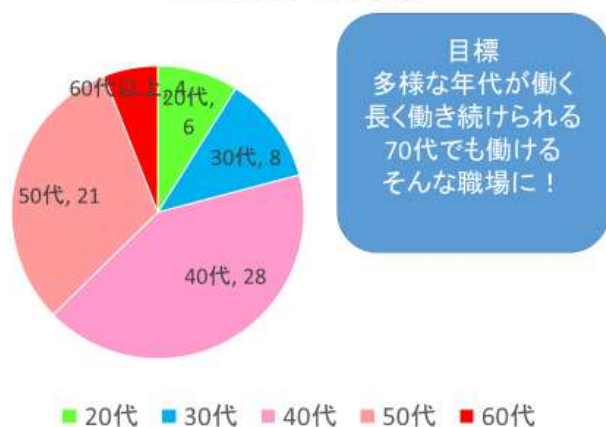
2018年4月18日（水）

今年度最初の全体研修

例年、年度の1回目の全体研修では、統括所長の立場からの話をさせていただきます。主には、当訪問看護ステーションの理念とその実現のためにスタッフに臨むことを、社会背景や制度、実績データを交え伝えます。今年は同時改定もあり、組織の新たな編成にも取り組み…と忙しく、準備がギリギリ間に合ったというところ。それでも、スタッフの感想を見ると、伝わったかなと嬉しく思います。

参加できないスタッフのためにビデオ撮影してくれるなと思いきや、「課長のところ、撮れてなかった！」とスタッフから連絡。いいのよ～。ちゃんとしてねと伝えとききました（笑）。スライドは、年齢別スタッフ数。平均年齢が一年前より9歳近く若くなったこと、70代でも働き続けられる職場を目指していることを最後に伝えたときに、わーって盛り上がりました。厳しい話もさせてもらった中、最後は笑顔で終わられ良かったです（^^）

年代別のスタッフ数



2018年4月17日（火）

今年度最初の所長会

制度改定や組織変更の対応で多忙中の所長会。これからのことについて確認、話し合いま

した。それよりインパクトがあったのは実習のご挨拶に来られたある大学の先生。前任の先生と交代され初対面でしたが、「大阪人の特徴で・・・」とおっしゃるごとく、そのパワフルなしゃべりがまるで芸人さんのようで、頭の回転の速さがそのまま表れているような…。実習に同伴くださった時にまた、お会いできるのが楽しみです！

2018年4月16日（月）

訪問看護課の平均年齢

年度最初の全体研修では、いつも訪問看護課の目指す方向について話しています。資料作成で表題の件、計算しましたら 41 歳！数年前に出した時よりめちゃくちゃ若返っています。多様な年代が働く・長く働き続けられる・70代も働ける・そんな職場に！といつも思ってます。

2018年4月13日（金）

あたらしい「いずみ園」

当法人の障害者自立支援施設が、新築移転するに当たり内覧会にうかがってまいりました。

当法人HP いずみ園のページより

人には、だれでも明日の数だけ“可能性”がある――

いずみ園は、知的障害のある人たちが地域社会の中で、それぞれが思う生活を送るために必要な支援を行っている施設です。

これが実践して行きやすそうな素敵な施設でした。きれいでいいな～。

2018年4月12日（木）

認知症初期集中支援チーム（オレンジサポート）新年度初めての打ち合わせ

新しいメンバーが入って初めての打ち合わせ会議。今年度の役割分担や目標の確認をしました。私はチーム全体の調整や行政等との折衝、事例へのスーパーバイズなどが役割。社会福祉士と看護師が動く支援・実践は、当然ながら看護実践要素も多く含まれています。観察とアセスメントとコミュニケーションがとても重要となるこの事業。チームで動くことや、看護実践のあるところには看護管理が必須と捉え、取り組み中です。

2018年4月11日（水）

訪問看護のレク

事務局長に訪問看護についてのレクをさせていただきました。

社会保障と税の一体改革やプログラム法の説明もしなきゃと思い、資料を準備したらすごい量に（笑）。使うところは少ないんだけど・・・。

近しい方が訪問看護の利用経験がおりとのこと。

喜んでもらえていい仕事だね～とおっしゃってましたが、ほんとそうです！

2018年4月9日（月）

訪問看護ステーションの災害対応マニュアル 第2版

「訪問看護のステーションの災害対策」（日本看護協会出版会：2009年発行）の第2版改訂版の編集が始まるそうで、再び編集委員のご依頼をいただきました。

全国訪問看護事業協会・高砂様よりご連絡をいただきました。

編集会議がさっそく4月24日にあります。平成24年度に市の危機管理局と訪問看護のネットワークで災害対応マニュアル作成等、一連の災害対策の取り組みで知ったことや気付いたこと、役に立てたらいいなあと思います。

2018年4月6日（金）

ケアマネジャー更新研修3日目

午後からの講師は知り合いでしたが、講義している姿は初めて見ました。

介護保険に関わる支援者に「利用者は支援を受けるために存在しているのではない」ということを投げかけ、考えさせる講義。マクロとミクロの視点をうまく汲み合わせ、気づかせるしかけに。みんな引き込まれていました。すごいな～。

彼のポリシーは「要介護状態になっても、『人生そんなに悪くない』と思ってもらえるような支援」。

あとで声かけると、彼の隣にいた人が「カリスマ講師ですからね」。どうりで！

2018年4月5日（金）

ケアマネジャー更新研修2日目

今日はグループディスカッションが多く、充実していました。

「本人と家族の思いがすれちがっています。どうケアマネジメントしますか？」など、現場あるあるを話し合います。権利擁護、代弁、アドバンスケアプランニング。

いずれもずーーーーーっと訪問看護課で大切にしていること。

「最期まで住み慣れた場所で過ごせる地域づくり」理念を叶えるには、その人自身の思いがどうなのかを抜かしてはならないと思っています。が、本人と周囲の理解や思いがピタリと重なり合うことは少ない。だからこそ、ベストに近いベターを選択してもらえるように……。

2018年4月4日（金）

ケアマネジャー更新研修1日目

今日から3日間の更新研修に参加させてもらっています。全部で10日間も！

ケアマネ業務をしていない人ばかりの研修でしたが、会場いっぱい500人くらいが参加されていました。

倫理、アドボカシーは訪問看護においてもとくに心を砕く点。ケアマネジメントはますます医療との連携が重要視されていますので、訪問看護師はケアマネへの支援をこれまで以上に行う必要があります。

しかし、訪問看護の役割って多職種にあまり理解されていないなあ・・・（悲）

2018年4月3日（金）

新卒さんへのオリエンテーション

今日は半日、私からオリエンテーション。3月入職のナースにも入ってもらいました。一日一日をていねいに、一つ一つの経験を自分のものにしていく努力を期待していることを明確に伝えました。1年ずつ3年間努力すると、どこでも訪問看護できるはずです。自分の役割やできること、努力が必要なこと等を考えてもらいながら、私が大切にしていたこと、大切にしてほしいことも伝えることができました。レポートにどんなことを書いてきてくれるのか楽しみ～。

2018年4月2日（月）

新年度です。

平成30年度が始まりました。

訪問看護課では新卒看護師1名が入職。

新たな体制として、重症化予防がますます大切になることを踏まえ、甲子園拠点をリハビリテーションと予防を重点化して展開することとしました。これに伴い、機能強化型の西宮拠点は、退院直後の状態安定化の支援が必要な方や、中重度の方、がん、非がんの方、医療的ケアの必要な子供さんのケアを中心に行います。

新たなステージのスタートです。